

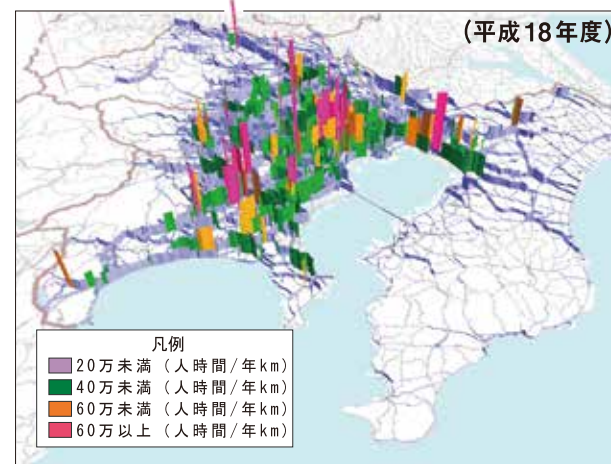
首都圏における交通の諸問題など



慢性的な渋滞の発生

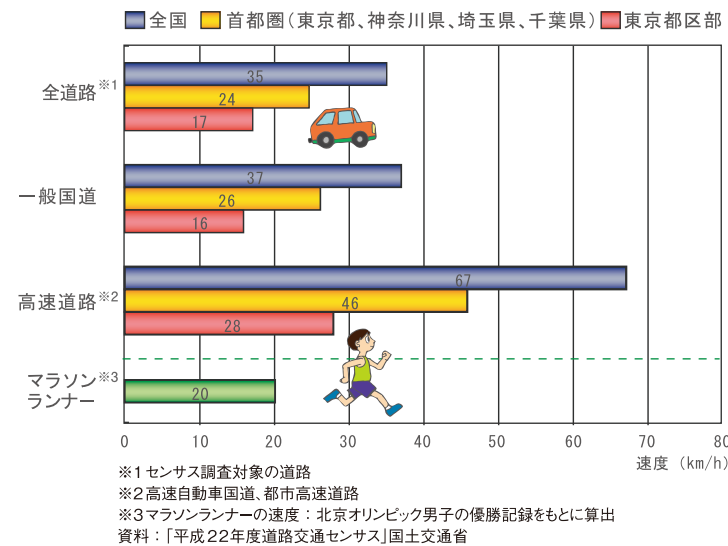
首都圏では、東京都心部に自動車交通が集中していることから慢性的な渋滞が発生しています。東京都区部における旅行速度は、全国平均を大きく下回っており、一般道の旅行速度はマソンランナーより遅い速度となっています。

関東地方整備局管内の交通渋滞損失3Dマップ



出典：国土交通省

全国平均を大きく下回る東京都区部の旅行速度



首都圏における渋滞状況



目白通り (練馬区谷原5丁目付近)

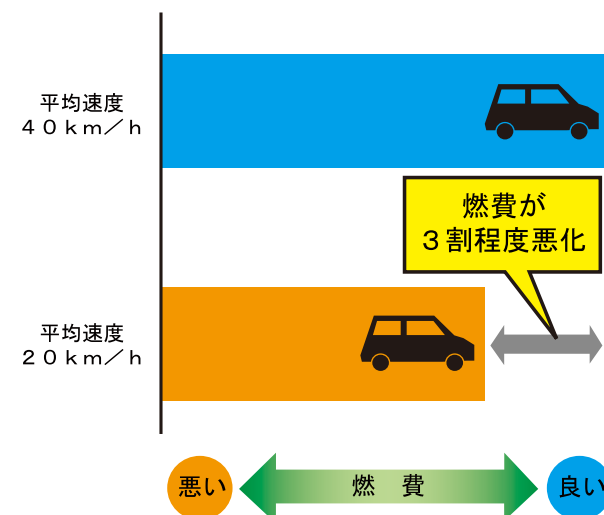


環状8号線 (杉並区高井戸東2丁目付近)



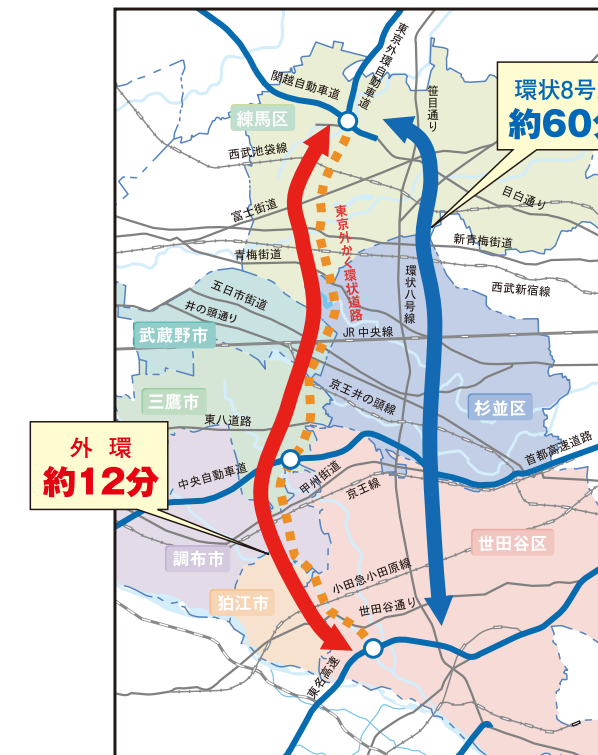
環状8号線 (世田谷区八幡山2丁目付近)

自動車の走行速度が、平均速度40km/hから平均速度20km/hに低下すると、3割程度※燃費が悪くなります。外環が整備されることにより、交通の流れがスムーズになり、走行速度の向上に伴う燃費の改善が期待されます。



※「自動車排出係数の算定根拠」国土交通省国土技術政策総合研究所をもとに算出

時間の短縮



東京外かく環状道路(関越道～東名高速)(以下、外環)が整備されることにより所要時間の大幅な短縮が見込まれ、目的地までのスムーズな移動が可能になります。

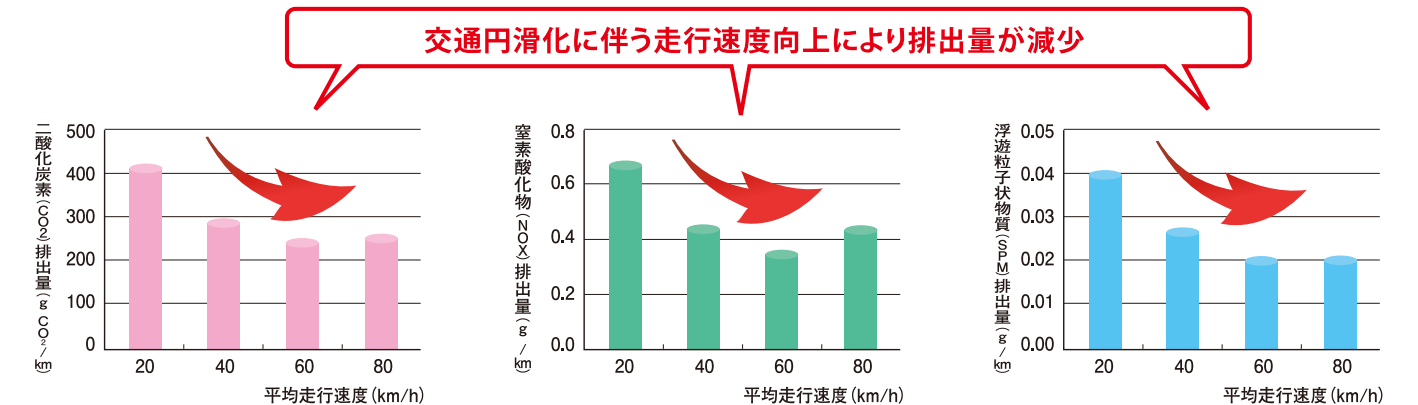
関越道-東名高速



環境改善

自動車から排出される二酸化炭素(CO₂)などの排出ガスの量は、自動車の走行速度が高まるにつれ減少する傾向にあります。外環の整備により、交通の流れがスムーズになり、走行速度が向上することで、排出ガスの大幅な削減が期待できます。また、二酸化炭素(CO₂)排出量の削減により、地球温暖化防止への貢献が期待されます。

排出量と走行速度の関係



資料：「自動車排出係数の算定根拠」国土交通省国土技術政策総合研究所

首都圏のCO₂を削減し温暖化防止に貢献